

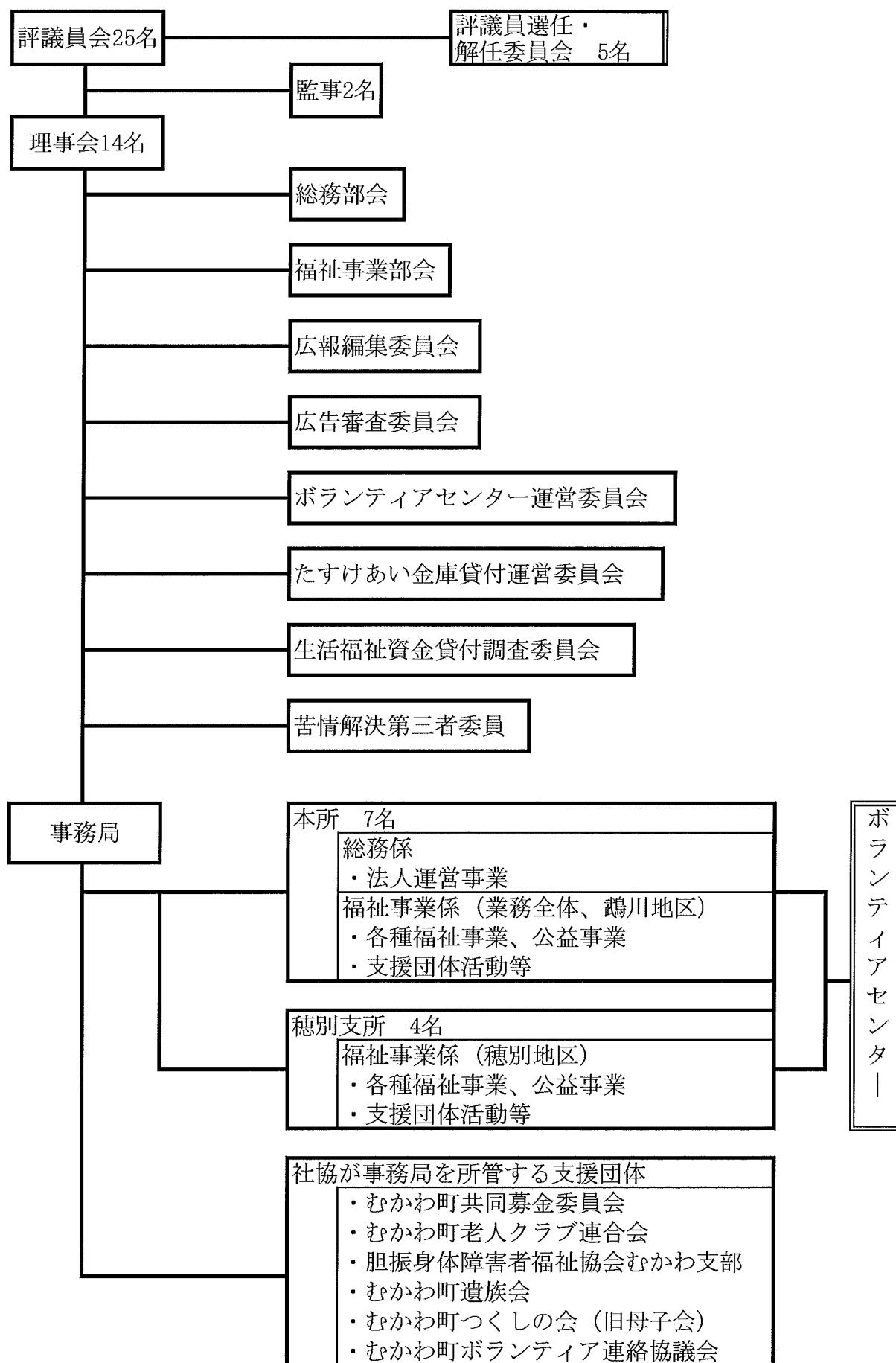
平成 30 年度

---

事 業 報 告 書

---

社会福祉法人 むかわ町社会福祉協議会



# 平成30年度社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会事業報告

## 平成30年度基本方針

2016年は北海道新幹線が開通し、また、2020年の東京オリンピック開催に向けて、ハード面の整備が進められています。しかし、人口の減少、少子高齢化、生活困窮、子ども・高齢者の虐待など地域のつながりの希薄化がもたらす影響が深刻となっているように、ソフト面では不安定になってきているように思います。

このような中、社会福祉協議会は、地域福祉を進める担い手として、改めて、その存在と役割を発揮することが求められています。介護保険制度改革による地域包括ケアシステムの推進や、総合事業に対しては、共助社会の活動を発展させ地域包括支援センターとも連携し、住民主体の地域福祉活動を推進していきます。

法人として、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上など制度改正の動向に注視し、適切に対応していきます。

景気の上向きの中でも、公共団体の財政は厳しいものがあり、各自治会や個人についても同様で、寄付金や社協会費の増加はむずかしいと思いますが、社会福祉協議会の活動を理解してもらうことで、少しでも財源の確保ができるように各事業に取り組んでいきます。

### [概要]

地域社会においては、少子高齢・人口減少社会、孤立や経済的困窮の深刻化や多発する自然災害を背景に福祉課題は年々と複雑・多様化しております。

平成30年9月6日午前3時7分59秒に、北海道胆振地方東部を震源とするマグニチュード6.7震度6強の今までに経験したことない大規模な地震に見舞われ、道内全域で長時間停電（ブラックアウト）がきました。本会では、災害ボランティアセンターを設置し、平成31年3月31日までの間、629件、総勢3,103人のボランティアの方々により復旧活動を実施してきました。

今回の経験したことは、もはや特別でも想定外の事でもなく、今やどこにでも起こり得ることだと認識しておかなければなりません。

4月1日より、むかわ町・社協・民間任意団体の3者連携でむかわ町復興支援ネットワークの名称で住民からの困り事や相談、生活支援等に対応してまいります。

地域の再生と被災者の生活再建等の早期実現が求められる等、これまで以上に厳しい状況にあります。

今後も複雑化する課題に対し、社協が果たす役割の重要性がこれまで以上に求められ、福祉課題の解決に向けた支援や仕組みづくりを進めていく必要があります。

第5期地域福祉実践計画（平成29年度～平成33年度）の2年目として見直しを実施し、町民一人ひとりが安心して暮らせる福祉がある町を目指して、行政・民生委員・児童委員、社会福祉法人（施設）、ボランティア・町民活動団体など多様な関係機関・団体と連携を図りながら事業の実施に努めました。

## 会議等の開催状況報告

### 1. 評議員会開催状況

(1) 第1回定期評議員会	平成30年 6月12日	21名出席 理事・監事12名出席
・ 報 告～平成30年度共同募金助成額決定報告について等	3件	
・ 議 案～平成29年度事業報告、平成29年度資金収支決算報告について等	4件	
(2) 第1回定期例評議員会	平成31年 3月29日	18名出席 理事・監事12名出席
・ 議 案～2019年度事業計画、2019年度資金収支予算について等	3件	

### 2. 理事会開催状況

(1) 第1回臨時理事会	平成30年 4月23日	12名出席
・ 報 告～共同募金助成申請の審査結果について	1件	
・ 議 案～公用車購入の入札に関する件について	1件	
(2) 第1回定期例理事会	平成30年 5月28日	11名出席
・ 報 告～本所公用車入札結果及び契約締結について等	4件	
・ 議 案～平成29年度事業報告について等	5件	
(3) 第2回定期例理事会	平成30年 7月24日	14名出席
・ 報 告～平成29年度資産登記報告について等	6件	
(4) 第3回定期例理事会	平成30年12月 7日	14名出席
・ 報 告～第4回むかわ町社会福祉大会の開催中止について等	8件	
・ 議 案～平成31年度事業計画（案）について等	2件	
(5) 第4回定期例理事会	平成31年 2月 4日	9名出席
・ 報 告～正職員及び臨時職員の募集について等	9件	
(6) 第5回定期例理事会	平成31年 3月14日	14名出席
・ 報 告～各部会・委員会の開催報告について等	3件	
・ 議 案～平成30年度資金収支補正予算について等	6件	

※平成30年9月6日発生の胆振東部地震により10月上旬開催予定の定期理事会中止。

### 3. 監事の監査及び報告状況

- (1) 第1回監査（平成29年度 決算監査）  
・ 実 施～平成30年 5月11日 2名出席  
・ 報 告～平成30年 5月28日 第1回定例理事会
- (2) 第2回監査（平成30年度 第1／四半期監査・平成29年度助成団体監査）  
・ 実 施～平成30年 8月 1日 2名出席  
・ 報 告～平成30年12月 7日 第3回定例理事会  
※平成30年9月6日の胆振東部地震により10月上旬開催予定の定例理事会中止。
- (3) 第3回監査（平成30年度 第2／四半期監査）  
・ 実 施～平成30年11月21日 2名出席  
・ 報 告～平成30年12月 7日 第3回定例理事会
- (4) 第4回監査（平成30年度 第3／四半期監査）  
・ 実 施～平成31年 2月 1日 2名出席  
・ 報 告～平成31年 2月 4日 第4回定例理事会

### 4. 部会及び委員会開催状況

- (1) 総務部会  
・ 実 施～平成30年11月26日 7名 延べ12名出席  
平成31年 2月20日 5名  
・ 報 告～むかわ町社会福祉大会開催中止について 1件  
・ 議 案～平成31年度事業計画、平成31年度資金収支予算について等 延べ 6件
- (2) 福祉事業部会  
・ 実 施～平成30年11月22日 4名 延べ12名出席  
平成31年 2月22日 8名  
・ 報 告～平成30年度歳末たすけあい募金助成について 1件  
・ 議 案～第5期地域福祉実践計画実績及び成果・課題について等 延べ 4件
- (3) 広報編集委員会  
・ 実 施～平成31年 2月14日 5名 5名出席  
・ 報 告～広報編集委員会の運営について等 延べ 3件  
・ 協 議～広報紙「ふくしだより」の改善事項について等 延べ 2件  
・ 議 案～委員長並びに副委員長の選任について 1件

※平成30年9月6日の胆振東部地震により9月7日開催予定の広報編集委員会中止。

(4) たすけあい金庫貸付運営委員会

- ・ 実 施～平成30年 9月 4日 6名  
平成31年 2月 12日 6名 延べ 12名出席
- ・ 報 告～平成30年度たすけあい金庫貸付・償還状況について等 延べ 6件
- ・ 議 案～委員長並びに副委員長の選任について 1件

(5) 生活福祉資金貸付調査委員会

- ・ 実 施～平成30年 9月 4日 6名  
平成31年 2月 12日 6名 延べ 12名出席
- ・ 報 告～平成30年度生活福祉資金貸付・償還状況について等 延べ 8件
- ・ 議 案～委員長並びに副委員長の選任について 1件

(6) ボランティアセンター運営委員会

- ・ 実 施～平成30年 8月 2日 3名  
平成30年12月20日 3名 延べ 6名出席
- ・ 報 告～ボランティアセンターの運営について等 延べ 5件
- ・ 議 案～平成31年度ボランティア事業等について 延べ 2件

## 事業活動報告

計 画	実 施																				
<p><b>I 法人運営事業</b></p> <p><b>1. 本所・支所の組織の充実</b></p> <p>(1) 本所・支所の職員配置及び適正化に努める。</p> <p>(2) 職員の質の向上、能力向上の取り組みとして、資格習得を促進するとともに外部研修を中心に、職務に関する専門研修や階層別研修等への積極的参加を促す。</p> <p>(3) 職員倫理規定を遵守し職員会議等でコンプライアンスの理解を深める。</p> <p>(4) 職員間で事業前打ち合わせ、事業後の反省等を職員で（年4回）報告し、協議する。ミーティングは必要な都度開き計画の重要性に関する意識教育を徹底する。</p> <p>(5) 多様な住民の福祉ニーズに対応するため、「生活支援員」からの情報収集に努める。</p> <p><b>2. 法人財政基盤の安定</b></p> <p>(1) 地域福祉事業の貴重な財源であることを住民に周知し、会員確保に努めるとともに、会費の依頼方法等検討し、入会啓蒙活動を実施する。</p> <p>(2) 社協広報誌「ふくしだより」への企業等の有料広告掲載に係る周知及び啓蒙を役職員協力のもと実施する。</p> <p>(3) 行政等の事業受託、収益事業等への可能性の有無を模索する。</p> <p>(4) 公費の適正な財源確保を図る必要性について、むかわ町の理解と協力を積極的に働きかける。</p> <p>(5) 共同募金（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）は貴重な自主財源となることから、共同募金委員会と連携を図り、運動の啓蒙と募金の協力を行う。</p>	<p>正職員間で業務の効率化を図った。</p> <p>関係機関等の研修会に参加。社会福祉士等資格取得のための奨励を図り、職員の協力があつた。</p> <p>職員倫理規定の遵守を職員会議等で理解を深めた。</p> <p>職員会議を3回開催。ミーティングは適宜実施した。</p> <p>生活支援員から都度情報を聞き取り、関係機関との情報共有を図った。</p>																				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">30年度</th> <th style="text-align: center;">29年度</th> <th style="text-align: center;">比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">一般会費</td> <td style="text-align: center;">2,251,900</td> <td style="text-align: center;">2,313,500</td> <td style="text-align: center;">△61,600</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特別会費</td> <td style="text-align: center;">433,000</td> <td style="text-align: center;">483,000</td> <td style="text-align: center;">△50,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">賛助会費</td> <td style="text-align: center;">208,000</td> <td style="text-align: center;">268,000</td> <td style="text-align: center;">△60,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">2,892,900</td> <td style="text-align: center;">3,064,500</td> <td style="text-align: center;">△171,600</td> </tr> </tbody> </table> <p>企業等への要請を実施したが、実績なし。</p> <p>有料広告掲載募集をふくしだよりに1回掲載継続調査</p> <p>担当課と事前打ち合わせを行い、事業説明及び予算について理解と協力を得た。</p> <p>胆振東部地震により企業訪問及び街頭募金等は行わず郵送にて募金協力のお願いをしました。町民等の理解を得て目標額に対して90%近くの実績額となりました。</p>	区 分	30年度	29年度	比 較	一般会費	2,251,900	2,313,500	△61,600	特別会費	433,000	483,000	△50,000	賛助会費	208,000	268,000	△60,000	合 計	2,892,900	3,064,500	△171,600
区 分	30年度	29年度	比 較																		
一般会費	2,251,900	2,313,500	△61,600																		
特別会費	433,000	483,000	△50,000																		
賛助会費	208,000	268,000	△60,000																		
合 計	2,892,900	3,064,500	△171,600																		

計 画	実 施
3. 社協事務所・福祉活動拠点施設の適切な利用  本所、支所事務所は、むかわ町の理解のもと十分なスペースと明るい環境のもと、社協専用スペースとして高齢者や障がいのある方、ボランティア、協力員等誰もが気軽に立ち寄れる場所として適切に活用する。相談業務で、来所される方のプライバシー確保を図る環境整備に努める。また、福祉活動拠点として、住民の福祉活動拠点となる施設機能を持った「ボランティアセンター」「介護予防センター」「町民センター」等をサロン事業等で有効に利用する。	常に整理整頓し、備品等の設置も考慮しながら来所者が気軽に立ち寄れる場所とした。相談支援等で来所された場合は空き状況により個室にて対処した。 いきいきふれあいサロン事業等で「介護予防センター」並びに「町民センター」の会議室及びコミュニティールームを適切に利用した。
4. サービスの質の向上の取り組み  苦情があった場合には誠心誠意対応し、事情調査に取り組み、解決に向けて苦情解決システムの運用を図る。	苦情相談窓口体制を掲示し、対応した。苦情受付及び報告等の取扱実績0件。
5. 生活支援・介護予防サービス体制整備事業の委託  平成29年度より、町より委託を受け始まった事業で、むかわ町地域包括支援センターと連携し協働で事業を推進していきます。介護予防を含む住民主体による活動や支援体制の開発と生活支援等サービスの開発は一体的に行われることが望ましく、できるだけ多くの地域の主体や元気な高齢者の参加を得て生活支援等サービスが提供できる体制や基盤をつくる生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を継続して配置する。	むかわ町担当課と連携を図り、協議体の参画、社協の役割、支援方法を協議した。 職員1名（兼務）、嘱託職員1名の生活支援コーディネーターを配置。 生活支援ボランティアポイント事業のチラシ全戸配布や説明研修会を開催し、事業周知、ボランティア登録を推進した。また、毎月2回開催される地域ケア会議に出席し、高齢者等福祉対策及び介護予防事業の情報共有と意見交換を行った。
6. 第5期地域福祉実践計画の取り組み  第5期地域福祉実践計画の進捗状況や事業評価等を行い、適正な運用を図ります。社会・経済情勢の変化や社会福祉の動向などに対応するため、必要に応じて計画内容の見直しを福祉事業部会等で協議する。	福祉事業部会で現状把握とともに協議・評価見直しを行い総務部会及び理事会に報告した。
<b>II. 広報・啓発事業</b>	
1. ふくしだよりの発行、各種情報の提供  ふくしだより（ボランティア情報誌を含む）を、年間6回発行、全戸配付する。  (1) 社協概要を発行し、福祉関係機関などに配布する。 (2) 地域活動を推進するため、各種情報を掲示板等で提供する。  (3) ホームページを必要時に更新し、ボランティア活動など各種事業等の情報周知に努め、法人情報や地域福祉に対する理解と認識を高める。	年5回発行（№73～77）全戸に配付した。 発行日 H30. 6. 1 / H30. 8. 1 / H30. 12. 1 H31. 2. 1 / H31. 4. 1 <u>*胆振東部地震で10月1日号発行出来ず。</u> 平成30年7月に発行し配付した。 各種情報を適宜掲示板等で提供した。  内容等を更新しながら地域福祉に関連する社協事業を新着情報として発信した。

計 画	実 施
(4) 報道機関への積極的な事業周知及び報道依頼を開ける。	社協事業の事前周知・事業実施の報道を積極的に依頼し、報道された。
<b>III. 地域福祉活動事業</b>	
<b>1. 第4回むかわ町社会福祉大会の開催</b>	
本大会では、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々を顕彰し、感謝と敬意を表するとともに、福祉関係者並びに幅広い世代の住民が一堂に集い地域を取り巻く課題に興味関心を抱き、身近な福祉活動の活性化へと繋げることにより、『「困った」を見すごさない。共に支え合い・助け合い・しあわせのまちづくり』への取り組みを推進すること目的に開催いたします。	9月6日に起きた胆振東部地震の影響により予定の会場（四季の館たんぽぽホール）も大きな被害を受け使用不可能となった。 11月11日（日）開催予定を中止。 1年延期し、開催することとなった。
<b>2. 地域ネットワーク事業の推進</b>	
<b>第26回ふれあい広場の実施</b>	
地域住民が誰でも気軽に参加し、お年寄りや心身にハンディキャップのある方、児童や生徒が一緒になって「ふれあい」の場をとおして、福祉活動に対する住民の理解をより深めるため、参加された方々が支え合い、人に優しい心の「わ」の広がりと、今後の地域福祉活動の推進を図るためテーマは、「『困った』を見すごさない。共に支え合い・助け合い・しあわせのまちづくり」を掲げ、四季の館「たんぽぽホール」をメイン会場として実行委員会を組織して屋内で開催する。	8月25日（土）予定を台風21号予報の為順延 平成30年8月26日（日）に約650人参加のもと四季の館内で開催。ふれあい広場実行委員会が主体となり、テーマ『『困った』を見すごさない。共に支え合い・助け合い・しあわせのまちづくり』とし、鶴川中央小学校の子供達のステージ発表もあり、町内の園児の絵の展示や、小学生が教えるバルーンアートの体験ブース、じょんけん大会など多くのボランティアが運営を支え、子供から大人まで幅広い楽しい交流の場となった。
<b>3. たまり場の支援</b>	
鶴川駅舎内を活用し地域で交流の場（みんなの茶店等）を設けることで、住民の地域への関心を深め、地域づくりを目指すボランティア支援を行う。	誰でも自由に立ち寄れる場所、お茶を飲みながら世間話ができる情報交換の場となる「サロン」の役割と「ボランティアの育成と活動の場」として139日開催し、1,071人利用。
<b>4. 自治会（町内会）活動推進事業</b>	
<b>(1) 地域福祉活動推進奨励事業</b>	
高齢化が急ピッチで進行し、ひとり暮らし高齢者の孤独死や介護疲れによる悲しい事件が起きるなど、さまざまな社会問題が発生している。「誰もが健康で安心して生活できる地域社会」にするには、地域（町内会・自治会）での高齢者や障がい者などを、地域が連帯して支えあう取り組みが急がれております。そこで、これらの活動を町内会・自治会に奨励し、地域ぐる	

計 画	実 施																																								
<p>みで福祉活動を推進するために、①見守り活動 ②日常生活支援事業③社会参加活動事業を実践した地区に活動費の一部を助成する。</p> <p>■実践活動</p> <p>1. 見守り活動</p> <p>対象：日常の生活や健康状態、非常時の対応が心配なひとり暮らしの高齢者等</p> <p>事例：声かけや定期的な訪問による話し相手などをしながら、安否の確認や健康上の変化を見守ることによって、事故を未然に防いだり、異常を発見します。</p> <p>【訪問しなくとも、例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間、電気が点灯しているか。</li> <li>・カーテンが開閉されているか。</li> <li>・新聞郵便物がたまっていないか。</li> <li>・回覧板が回っているか。</li> <li>・雪が積もったままか。</li> </ul> <p>などを見回りするだけでも効果があります。</p> <p>助成：(1)連合自治会、広域及び市街地自治会 1万円 (2)上記以外の自治会 5千円</p> <p>2. 日常生活支援活動</p> <p>対象：身体が不自由になって、炊事、洗濯、掃除などの家事や外出が困難となっている世帯、家族での介護や看病が困難な高齢者等</p> <p>事例：(1)家事援助～除雪・除草・買物・ゴミ出し・掃除・洗濯・アイロンかけ・布団干し・代筆・食事つくりなど (2)身辺介助～洗髪・ヒゲ剃り・爪きり・着替え・化粧など (3)外出介助～買物随行・散歩随行・知人宅訪問・通院付添など (4)介護支援～介護の手伝い・介護者の代行など (5)その他～簡単な用事足し・給配食・留守番・諸手続きの代理・薬の受取・話し相手・悩みごと相談など</p> <p>助成：(1)連合自治会、広域及び市街地自治会 2万円 (2)上記以外の自治会 1万円 (3)要支援者 1人につき 500円加算 ※介護保険認定者は除く。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="2">30 年度</th><th colspan="2">29 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td>25 件</td><td>185,000</td><td>25 件</td><td>185,000</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>11 件</td><td>65,000</td><td>10 件</td><td>65,000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>36 件</td><td>250,000</td><td>36 件</td><td>250,000</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="2">30 年度</th><th colspan="2">29 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td>11 件</td><td>181,000</td><td>11 件</td><td>181,500</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>8 件</td><td>106,500</td><td>8 件</td><td>105,000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>19 件</td><td>287,500</td><td>19 件</td><td>286,500</td></tr> </tbody> </table>	区 分	30 年度		29 年度		鵠川地区	25 件	185,000	25 件	185,000	穂別地区	11 件	65,000	10 件	65,000	合 計	36 件	250,000	36 件	250,000	区 分	30 年度		29 年度		鵠川地区	11 件	181,000	11 件	181,500	穂別地区	8 件	106,500	8 件	105,000	合 計	19 件	287,500	19 件	286,500
区 分	30 年度		29 年度																																						
鵠川地区	25 件	185,000	25 件	185,000																																					
穂別地区	11 件	65,000	10 件	65,000																																					
合 計	36 件	250,000	36 件	250,000																																					
区 分	30 年度		29 年度																																						
鵠川地区	11 件	181,000	11 件	181,500																																					
穂別地区	8 件	106,500	8 件	105,000																																					
合 計	19 件	287,500	19 件	286,500																																					

計 画	実 施																																																																																													
<p>3. 社会参加活動助成</p> <p>対象：住民</p> <p>事例：家に閉じこもっていると寝たきりへの道へ猛スピードで疾走することになります。高齢期を元気で生きいき暮らすには、「健康づくり」、「仲間づくり」、「生きがいづくり」が大切です。地域住民のふれあいのなかで、コミュニティ活動を再生します。</p> <p>(1)介護予防事業（元気高齢者づくり）</p> <p>生きがい活動、花いっぱい運動、スポーツレク大会、サロン活動・健康教育、料理教室、昼食会、昔の遊び・輪投げ・パッчなど</p> <p>(2)世代間交流事業</p> <p>高齢者と子供・婦人の集い、高齢者の能力を引き出す事業、体験学習など</p> <p>(3)自治会(町内会)行事への連れ出し</p> <p>運動会、パークゴルフ大会、各種レク大会、生きがい健康まつり、花見会・リサイクル活動・研修会・温泉旅行など</p> <p>助成：参加者1人につき200円、2万円を限度とする。 ※他から助成される事業は、対象外とする。 ※1自治会2事業を限度とする。</p> <p>(2) 福祉委員活動の推進</p> <p>町内各地域において福祉に関する問題や要望を発見し、助け合い活動を展開して地域の人たちと共に福祉のまちづくりを進める「地域福祉活動家」である福祉委員を配置するとともに、福祉の啓発活動、ふれあい活動、たすけあい活動、社協事業等の協力など具体的に推進するため、自治会・町内会長の協力を得て情報交換の場や新任者のための研修を実施する。</p> <p>5. 福祉活動車両及び福祉機器・備品の貸付事業</p> <p>(1) リフト付ワゴン車を整備し、地域福祉活動を実践する地域・団体に、福祉活動車両として貸付ける。</p> <p>(2) 車イスや歩行器など福祉機器を無償で貸与する。</p> <p>(3) 行事用テント、遊具などの備品を無償で貸与する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th><th>29 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>52 件</td><td>568,800</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>13 件</td><td>130,400</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>65 件</td><td>699,200</td></tr> <tr> <td></td><td>56 件</td><td>595,600</td></tr> <tr> <td></td><td>14 件</td><td>143,600</td></tr> <tr> <td></td><td>70 件</td><td>739,200</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th><th>29 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>16 件</td><td>152,400</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>1 件</td><td>4,800</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>17 件</td><td>157,200</td></tr> <tr> <td></td><td>17 件</td><td>149,400</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th><th>29 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>12 件</td><td>103,200</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>3 件</td><td>19,000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>15 件</td><td>122,200</td></tr> <tr> <td></td><td>12 件</td><td>106,800</td></tr> <tr> <td></td><td>4 件</td><td>25,000</td></tr> <tr> <td></td><td>18 件</td><td>131,800</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th><th>29 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>24 件</td><td>313,200</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>9 件</td><td>106,600</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>33 件</td><td>419,800</td></tr> <tr> <td></td><td>27 件</td><td>339,400</td></tr> <tr> <td></td><td>10 件</td><td>118,600</td></tr> <tr> <td></td><td>37 件</td><td>458,000</td></tr> </tbody> </table> <p>福祉委員 75 名の委嘱</p> <p>期間 令和2年3月31日まで（3年）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援ボランティアポイント事業説明</li> <li>・平成30年7月18日（水）</li> <li>・午前10時～：穂別町民センター会議室</li> <li>・午後2時～：四季の館研修室</li> </ul> <p>・問い合わせ1件／実績1件。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th><th>29 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車椅子</td><td>22 件</td><td>39 件</td></tr> <tr> <td>歩行器</td><td>14 件</td><td>8 件</td></tr> <tr> <td>簡易トイレ</td><td>14 件</td><td>8 件</td></tr> <tr> <td>行事用テント</td><td>17 件(68 張)</td><td>14 件(81 張)</td></tr> </tbody> </table>	区 分	30 年度	29 年度	鶴川地区	52 件	568,800	穂別地区	13 件	130,400	合 計	65 件	699,200		56 件	595,600		14 件	143,600		70 件	739,200	区 分	30 年度	29 年度	鶴川地区	16 件	152,400	穂別地区	1 件	4,800	合 計	17 件	157,200		17 件	149,400	区 分	30 年度	29 年度	鶴川地区	12 件	103,200	穂別地区	3 件	19,000	合 計	15 件	122,200		12 件	106,800		4 件	25,000		18 件	131,800	区 分	30 年度	29 年度	鶴川地区	24 件	313,200	穂別地区	9 件	106,600	合 計	33 件	419,800		27 件	339,400		10 件	118,600		37 件	458,000	区 分	30 年度	29 年度	車椅子	22 件	39 件	歩行器	14 件	8 件	簡易トイレ	14 件	8 件	行事用テント	17 件(68 張)	14 件(81 張)
区 分	30 年度	29 年度																																																																																												
鶴川地区	52 件	568,800																																																																																												
穂別地区	13 件	130,400																																																																																												
合 計	65 件	699,200																																																																																												
	56 件	595,600																																																																																												
	14 件	143,600																																																																																												
	70 件	739,200																																																																																												
区 分	30 年度	29 年度																																																																																												
鶴川地区	16 件	152,400																																																																																												
穂別地区	1 件	4,800																																																																																												
合 計	17 件	157,200																																																																																												
	17 件	149,400																																																																																												
区 分	30 年度	29 年度																																																																																												
鶴川地区	12 件	103,200																																																																																												
穂別地区	3 件	19,000																																																																																												
合 計	15 件	122,200																																																																																												
	12 件	106,800																																																																																												
	4 件	25,000																																																																																												
	18 件	131,800																																																																																												
区 分	30 年度	29 年度																																																																																												
鶴川地区	24 件	313,200																																																																																												
穂別地区	9 件	106,600																																																																																												
合 計	33 件	419,800																																																																																												
	27 件	339,400																																																																																												
	10 件	118,600																																																																																												
	37 件	458,000																																																																																												
区 分	30 年度	29 年度																																																																																												
車椅子	22 件	39 件																																																																																												
歩行器	14 件	8 件																																																																																												
簡易トイレ	14 件	8 件																																																																																												
行事用テント	17 件(68 張)	14 件(81 張)																																																																																												

計 画	実 施																												
6. 生活改善合理化普及奨励事業及び葬祭協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生活改善合理化による虚礼廃止を奨励し、慶弔用ハガキを作成し提供する。</li> <li>(2) 会員加入自治会・町内会が主体で行われる葬祭に協力する。</li> <li>(3) 町民の弔慰に対して、故人への追悼と敬意を表するため、レタックスにより弔慰文を送付する。</li> </ul>	<p>葬儀・見舞い返し用葉書を印刷し提供した。</p> <table border="1"> <tr> <td>30年度</td> <td>33件</td> <td>12,000枚</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>39件</td> <td>13,750枚</td> </tr> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>30 年度</th> <th>29 年度</th> <th>比 較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>10件</td> <td>3件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	30年度	33件	12,000枚	29年度	39件	13,750枚	区 分	30 年度	29 年度	比 較	鶴川地区	10件	3件	7件	穂別地区	1件	1件	—										
30年度	33件	12,000枚																											
29年度	39件	13,750枚																											
区 分	30 年度	29 年度	比 較																										
鶴川地区	10件	3件	7件																										
穂別地区	1件	1件	—																										
7. 福祉団体助成事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 民生児童委員協議会・遺族会への活動費の助成と支援を行う。</li> <li>(2) 自治会婦人部連絡協議会への活動費の助成を行う。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>30 年度</th> <th>29 年度</th> <th>比 較</th> </tr> <tr> <td>件 数</td> <td>113 件</td> <td>106 件</td> <td>7 件</td> </tr> </table> <p>民生児童委員協議会 76,000円助成            遺族会 173,000円助成            穂別自治会婦人部連絡協議会 23,000円助成            老連主催：ふれあいスポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月21日(金)町民体育館228名(鶴川)</li> <li>・7月28日(金)スポーツセンター114名(穂別)</li> <li>・パークゴルフ大会 6月15日(木)            穂別森林組合</li> <li>・ゲートボール・ペタンク交流会支援            8月31日(木)屋内ゲートボール場44名</li> <li>・演芸発表会：胆振東部地震の影響で中止。</li> </ul>	区 分	30 年度	29 年度	比 較	件 数	113 件	106 件	7 件																				
区 分	30 年度	29 年度	比 較																										
件 数	113 件	106 件	7 件																										
8. 高齢者福祉活動事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 老人クラブ連合会事業への支援                スポーツ大会、演芸発表会、研修及び交流事業などの実施、ボランティア活動を通じて社会参加する等、健康の増進とふれあいの機会を拡充するとともに、生きがいをもって生活できるよう支援する。</li> <li>(2) いきいきふれあいサロンの推進                65歳以上でディサービスに通っていない、外出の機会の少なくなった高齢者を対象に、毎月ないし隔月に軽い体操やレクリエーション、そして昼食と共にしながら憩い場、孤独感の解消、心身の健康維持増進等交流の場づくり事業として実施する。町の「あった〇事業」の対象でスタンプカードを交付された方に社協のスタンプを押し支援する。</li> <li>(3) 男の料理教室の推進                60歳以上の男性を対象に料理の基礎技術等を習得し、日常生活において栄養バランスの良い食事を心がけることにより、生活環境の改善、増進を図り、健康、福祉に繋げる。</li> <li>(4) 地区敬老会などへの祝い品の贈呈                地区敬老会や施設の敬老会に参加し、長寿を祝い祝い品の贈呈をする。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>30 年度</th> <th>29 年度</th> <th>比 較</th> </tr> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>657名</td> <td>809名</td> <td>△152名</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>198名</td> <td>201名</td> <td>△3名</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>855名</td> <td>1,010名</td> <td>△155名</td> </tr> </table> <p>*胆振東部地震の為中止(鶴川地区2回・穂別地区1回)</p> <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>30 年度</th> <th>29 年度</th> <th>比 較</th> </tr> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>7名</td> <td>7名</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>△1名</td> </tr> </table>	区 分	30 年度	29 年度	比 較	鶴川地区	657名	809名	△152名	穂別地区	198名	201名	△3名	合 計	855名	1,010名	△155名	区 分	30 年度	29 年度	比 較	鶴川地区	7名	7名	—	穂別地区	3名	4名	△1名
区 分	30 年度	29 年度	比 較																										
鶴川地区	657名	809名	△152名																										
穂別地区	198名	201名	△3名																										
合 計	855名	1,010名	△155名																										
区 分	30 年度	29 年度	比 較																										
鶴川地区	7名	7名	—																										
穂別地区	3名	4名	△1名																										
9. 障がい者福祉活動事業 身障者福祉協会むかわ支部のスポーツ大会、研修及び交流などの支援をし、活動費を助成する。	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>30 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> <tr> <td>鶴川地区</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>穂別地区</td> <td>2件</td> <td>12件</td> </tr> </table> <p>*胆振東部地震により開催中止地区有り。</p> <p>身障者福祉協会むかわ支部 176,000円助成</p>	区 分	30 年度	29 年度	鶴川地区	1件	1件	穂別地区	2件	12件																			
区 分	30 年度	29 年度																											
鶴川地区	1件	1件																											
穂別地区	2件	12件																											
10. 児童・青少年福祉活動事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子供会連絡協議会に、活動費を助成し支援する。</li> <li>(2) 児童生徒健全育成事業(親子バス遠足)                ひとり親・障がい児のいる世帯等の青少年が、集団生活の中で仲間に対して思いやりのある心を育て、交流及び研修を深めることを目的とする。</li> </ul>	<p>子供会育成連絡協議会 76,000円助成            児童生徒健全育成事業(親子バス遠足)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年8月12日(日)</li> <li>・ルスツリゾート(留寿都村)</li> <li>・14世帯42名参加</li> </ul>																												

計 画	実 施																																																									
1 1. 母子・父子福祉活動事業  (1) つくしの会（母子会）に、活動費を助成し支援する。 (2) 低所得世帯のひとり親家庭の小学校及び中学校修学旅行児童及び生徒に支度金として助成する。 (3) 低所得世帯のひとり親家庭の小学校入学児童及び中学校卒業生徒に支度金として助成する。 (4) 低所得世帯でひとり親家庭の児童に対して、小学校入学時に希望があればランドセル（ハーバーブルー、ピンク、オーロラピンク、サクラ色限定）を贈呈する。	つくしの会 83,000 円助成 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th colspan="2">30年度</th><th colspan="2">29年度</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td><td>3件</td><td>30,000</td><td>7件</td><td>70,000</td><td>4件減</td></tr> <tr> <td>中学校</td><td>3件</td><td>30,000</td><td>1件</td><td>10,000</td><td>2件増</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>6件</td><td>60,000</td><td>8件</td><td>80,000</td><td>2件減</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th colspan="2">30年度</th><th colspan="2">29年度</th><th>増減</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td><td>1件</td><td>10,000</td><td>2件</td><td>20,000</td><td>1件減</td></tr> <tr> <td>中学校</td><td>2件</td><td>20,000</td><td>4件</td><td>40,000</td><td>2件減</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>3件</td><td>30,000</td><td>6件</td><td>60,000</td><td>3件減</td></tr> <tr> <td>ランドセル贈呈</td><td colspan="2">1件</td><td colspan="2" rowspan="3">1件</td><td>---</td></tr> </tbody> </table>				区分	30年度		29年度		増減	小学校	3件	30,000	7件	70,000	4件減	中学校	3件	30,000	1件	10,000	2件増	合 計	6件	60,000	8件	80,000	2件減	区分	30年度		29年度		増減	小学校	1件	10,000	2件	20,000	1件減	中学校	2件	20,000	4件	40,000	2件減	合 計	3件	30,000	6件	60,000	3件減	ランドセル贈呈	1件		1件		---
区分	30年度		29年度		増減																																																					
小学校	3件	30,000	7件	70,000	4件減																																																					
中学校	3件	30,000	1件	10,000	2件増																																																					
合 計	6件	60,000	8件	80,000	2件減																																																					
区分	30年度		29年度		増減																																																					
小学校	1件	10,000	2件	20,000	1件減																																																					
中学校	2件	20,000	4件	40,000	2件減																																																					
合 計	3件	30,000	6件	60,000	3件減																																																					
ランドセル贈呈	1件		1件		---																																																					
IV. 在宅福祉サービス事業																																																										
1. 受託事業  (1) 外出支援サービス事業  公共交通機関を使用できない高齢者等に、町内の病院や入浴等送迎サービスを実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th colspan="2">30年度</th><th colspan="2">29年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外出支援</td><td colspan="2">延 2,845 回</td><td colspan="2">延 3,055 回</td><td>△210回</td></tr> <tr> <td>入浴送迎</td><td colspan="2">延 392 回</td><td colspan="2">延 468 回</td><td>△76回</td></tr> <tr> <td>路線廃止</td><td colspan="2">延 135 回</td><td colspan="2">延 189 回</td><td>△54回</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td colspan="2">延 3,372 回</td><td colspan="2">延 3,712 回</td><td>△340回</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th colspan="2">30年度</th><th colspan="2">29年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td colspan="2">2,204 食</td><td colspan="2">3,554 食</td><td>△1,350</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td colspan="2">1,005 食</td><td colspan="2">1,070 食</td><td>△65</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td colspan="2">3,209 食</td><td colspan="2" rowspan="2">4,624 食</td><td>△1,415</td></tr> </tbody> </table>				区分	30年度		29年度		比較	外出支援	延 2,845 回		延 3,055 回		△210回	入浴送迎	延 392 回		延 468 回		△76回	路線廃止	延 135 回		延 189 回		△54回	合 計	延 3,372 回		延 3,712 回		△340回	区分	30年度		29年度		比較	鵠川地区	2,204 食		3,554 食		△1,350	穂別地区	1,005 食		1,070 食		△65	合 計	3,209 食		4,624 食		△1,415
区分	30年度		29年度		比較																																																					
外出支援	延 2,845 回		延 3,055 回		△210回																																																					
入浴送迎	延 392 回		延 468 回		△76回																																																					
路線廃止	延 135 回		延 189 回		△54回																																																					
合 計	延 3,372 回		延 3,712 回		△340回																																																					
区分	30年度		29年度		比較																																																					
鵠川地区	2,204 食		3,554 食		△1,350																																																					
穂別地区	1,005 食		1,070 食		△65																																																					
合 計	3,209 食		4,624 食		△1,415																																																					
2. 生活支援事業  (1) 高齢者等生活支援事業  制度の狭間にある多様な福祉ニーズに弾力的に対応するため、社協の独自事業として次の事業を実施する。  ア. おでかけ支援事業  在宅の独居及び老夫婦等で、とじこもりがちな高齢者等に対し、お楽しみ行事、買い物、交流会、ドライブ、温泉入浴等へのおでかけを支援する事業  イ. 独居老人等窓ビニール張り事業  老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する事業	<p>*胆振東部地震等の影響：町外転出※施設入所等。（鵠川地区：9月以降利用者激減）</p> <p>町外おでかけ 各地区 2回実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th colspan="2">30年度</th><th colspan="2">29年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td colspan="2">44名</td><td colspan="2">53名</td><td>△9名</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td colspan="2">37名</td><td colspan="2">53名</td><td>△16名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td colspan="2">81名</td><td colspan="2">106名</td><td>△25名</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th colspan="2">30年度</th><th colspan="2">29年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td colspan="2">1件</td><td colspan="2">1件</td><td>---</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td colspan="2">6件</td><td colspan="2">9件</td><td>△3件</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td colspan="2">7件</td><td colspan="2">10件</td><td>△3件</td></tr> </tbody> </table>				区分	30年度		29年度		比較	鵠川地区	44名		53名		△9名	穂別地区	37名		53名		△16名	合 計	81名		106名		△25名	区分	30年度		29年度		比較	鵠川地区	1件		1件		---	穂別地区	6件		9件		△3件	合 計	7件		10件		△3件						
区分	30年度		29年度		比較																																																					
鵠川地区	44名		53名		△9名																																																					
穂別地区	37名		53名		△16名																																																					
合 計	81名		106名		△25名																																																					
区分	30年度		29年度		比較																																																					
鵠川地区	1件		1件		---																																																					
穂別地区	6件		9件		△3件																																																					
合 計	7件		10件		△3件																																																					

計 画	実 施																																		
<p>ウ. 災害見舞金の支給事業 火災、風水害等により、家屋等が使用に耐えない程に焼失、流失、崩壊した町民に、見舞金を支給する。</p> <p>(2) 日常生活自立支援事業の推進 認知症や障がい等により判断能力が不十分な方々を対して、福祉サービス利用の援助、日常的な金銭管理等を行い、在宅での自立した生活を支援する。また、事業周知を図り専門員及び生活支援員と連携を密に推進する。</p> <p>(3) 長寿祝い金贈呈事業 満100歳に達した長寿者に長寿祝い金を贈呈する</p> <p>(4) 歳末たすけあい助成事業            ① 歳末見舞金（品）を支給（贈呈）する。            ② おせち料理を配食する。            ③ 地域福祉サービス事業            ア. 独居高齢者世帯等ビニール張り（再掲） 老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する。</p> <p>イ. 家事援助サービス利用券配付事業 自力で家事を行うことが困難な高齢者等に「家事援助サービス利用券」を配付して、家事援助を行う。</p>	<p>1件</p> <p>前年度からの継続契約件数 1件 今年度新規契約件数 0件 解約件数 0件 次年度継続契約 1件 相談件数 6件 指揮監督者・生活支援専門員（職員兼務） 生活支援専門員：本所1名・支所1名配置 生活支援員：登録5名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th><th>29 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵠川地区</td><td>2 件</td><td>4 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>1 件</td><td>0 件</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>3 件</td><td>4 件</td></tr> </tbody> </table> <p>区 分 30 年度 29 年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>歳末見舞金</th><th>16 件 20 名</th><th>208,000</th><th>17 件 21 名</th><th>275,000</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おせち料理</td><td>20 件 23 食</td><td>69,000</td><td>23 件 28 食</td><td>61,600</td></tr> </tbody> </table> <p>*おせち料理：単価改定2,200→3,000 7件（再掲）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th><th>29 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象自治会</td><td>5</td><td>5</td><td>—</td></tr> <tr> <td>対象世帯数</td><td>9</td><td>8</td><td>1増</td></tr> </tbody> </table> <p>V. ボランティア活動事業</p> <p>1. ボランティアセンター機能の充実 すべての住民が、自発的に福祉活動に参加できるまちづくりの推進のため、誰もがいつでもどこでも気軽に参加できる環境や機会の提供、活動に関する相談、助言、支援、斡旋を行う。さらに、活動の拠点となるボランティアセンター機能の充実を図る。</p> <p>ボランティアコーディネーターを本所、支所に各1名配置し、情報発信等に努めた。</p>	区 分	30 年度	29 年度	鵠川地区	2 件	4 件	穂別地区	1 件	0 件	合 計	3 件	4 件	歳末見舞金	16 件 20 名	208,000	17 件 21 名	275,000	おせち料理	20 件 23 食	69,000	23 件 28 食	61,600	区 分	30 年度	29 年度	比 較	対象自治会	5	5	—	対象世帯数	9	8	1増
区 分	30 年度	29 年度																																	
鵠川地区	2 件	4 件																																	
穂別地区	1 件	0 件																																	
合 計	3 件	4 件																																	
歳末見舞金	16 件 20 名	208,000	17 件 21 名	275,000																															
おせち料理	20 件 23 食	69,000	23 件 28 食	61,600																															
区 分	30 年度	29 年度	比 較																																
対象自治会	5	5	—																																
対象世帯数	9	8	1増																																

計 画	実 施																								
<p>① ボランティアセンター運営委員会を中心とし、ボランティアや会員並びに関係機関に沿った事業運営を図る。</p> <p>② ボランティア登録の募集・受付等から利用者の希望に応えられるよう調整に努める。</p> <p>③ ボランティア団体の紹介・募集などを行い、ボランティア活動に対する理解と関心を高める。</p> <p>④ ボランティアセンター備品を整理し、広く貸し出しを行う。</p>	<p>いきいきふれあいサロン等の個人ボランティア活動の調整に努めた。 20件／延べ50名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th colspan="2">30年度</th><th colspan="2">29年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体</td><td>15</td><td>1,970名</td><td>15</td><td>1,970名</td><td>—</td></tr> <tr> <td>個人</td><td></td><td>83名</td><td></td><td>92名</td><td>△9名</td></tr> <tr> <td>合計</td><td></td><td>2,053名</td><td>15</td><td>2,062名</td><td>△9名</td></tr> </tbody> </table> <p>サロン事業等で活用できる遊具などを整備し、一般貸出しの情報提供に努めた。</p>	区分	30年度		29年度		比較	団体	15	1,970名	15	1,970名	—	個人		83名		92名	△9名	合計		2,053名	15	2,062名	△9名
区分	30年度		29年度		比較																				
団体	15	1,970名	15	1,970名	—																				
個人		83名		92名	△9名																				
合計		2,053名	15	2,062名	△9名																				
<p>2. ボランティア活動事業の推進</p> <p>(1) ボランティア団体の強化育成</p> <p>各種団体活動の推進のため助言・協力し、一部経費の助成をする。</p>	<p>ボランティアさつき会 21,000円助成 ボランティア連絡協議会 88,000円助成</p>																								
<p>(2) ボランティア養成研修及び活動研修会の実施</p> <p>ボランティア活動を実践している活動者やボランティア活動②興味関心を持つ地域住民に対し、研修の機会を設け、ボランティアの底上げ目指すとともに各種ボランティア事業への参加、実践者を育てまた、学童、生徒のボランティア活動を町民に報告し活動の幅を広げる研修会を実施する。</p>	<p>○養成研修 平成30年7月9日（月）      ・穂別町民センター ・参加者 26名      ・傾聴ボランティア      「傾聴から学ぶボランティアの作法」      ・苫小牧傾聴ボランティア・アガペーの会      会長 千葉 重利 氏</p>																								
<p>(3) 福祉教育推進事業</p> <p>町内の学校及び関係機関と協働し、町民がボランティア活動等を通して地域に関わることのできる機会を設け、福祉教育を促進できる環境を整える。</p>	<p>各学校のボランティア同好会の活動状況を把握し、事業の周知方法及び新たな企画を模索した。</p>																								
<p>(4) ボランティアアドバイザーなどの実践活動の実施 (なかよし広場)</p> <p>「ボランティアアドバイザー研修」及び「ボランティア養成研修」を終え、実際に実践できる場を提供し、今後のボランティア活動の一層の振興を図るため、鵡川地区は町内の拠点施設を利用し6地区で、穂別地区は4地区でなかよし広場を実施する。</p> <p>町の「あった〇事業」の対象事業として支援する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>30年度</th><th>29年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵡川</td><td>開催場所</td><td>3箇所</td><td>6箇所</td><td>△3箇所</td></tr> <tr> <td></td><td>参加者数</td><td>114名</td><td>132名</td><td>△18名</td></tr> <tr> <td>穂別</td><td>開催場所</td><td>2箇所</td><td>2箇所</td><td>—</td></tr> <tr> <td></td><td>参加者数</td><td>33名</td><td>34名</td><td>△1名</td></tr> </tbody> </table> <p>*胆振東部地震の影響で開催中止：鵡川地区3箇所</p>	区分	30年度	29年度	比較	鵡川	開催場所	3箇所	6箇所	△3箇所		参加者数	114名	132名	△18名	穂別	開催場所	2箇所	2箇所	—		参加者数	33名	34名	△1名
区分	30年度	29年度	比較																						
鵡川	開催場所	3箇所	6箇所	△3箇所																					
	参加者数	114名	132名	△18名																					
穂別	開催場所	2箇所	2箇所	—																					
	参加者数	33名	34名	△1名																					
<p>(5) ボランティア研修・交流会事業への参加</p> <p>管内で行われるボランティアばんざい in 胆振や町内ボランティア研修などボランティア活動の担い手づくりの取り組みを積極的に行う。</p>	<p>○平成30年度ボランティアばんざい in 胆振  <u>*胆振東部地震の影響で開催中止（白老町）</u></p> <p>○ボランティア視察研修（南富良野町社協等）      実施日：平成30年7月11日（火）      ・参加者 23名</p>																								

計 画	実 施																							
	30年度	29年度	比 較																					
(6) ボランティア実践者の保険加入促進  活動中の事故に備え、実践者の保険加入を促進する。	加入数 278名	289名	△11名	*災害ボランティア活動保険現地加入者数 9月～3月迄：880名																				
(7) 学童・生徒ボランティア活動普及指定校に、活動費を助成する。	指定校に鶴川中央小学校、穂別小学校とし、各5万円を助成。  ブルタブ、古切手等のリサイクル活動を推進した。																							
(8) リサイクル活動事業（収集ボランティア）の推進  リングブル、古切手、書き損じハガキ、使用済みテレホンカード回収等のリサイクル活動を奨励する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な預託物品</th> <th>30年度</th> <th>29年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルタブ</td> <td>111件</td> <td>350kg</td> <td>89件 295,824kg</td> </tr> <tr> <td>古切手</td> <td>75件</td> <td>27,533枚</td> <td>48件 35,161枚</td> </tr> <tr> <td>ハガキ</td> <td>12件</td> <td>194枚</td> <td>8件 81枚</td> </tr> <tr> <td>カード</td> <td>4件</td> <td>10枚</td> <td>3件 53枚</td> </tr> </tbody> </table>				主な預託物品	30年度	29年度		ブルタブ	111件	350kg	89件 295,824kg	古切手	75件	27,533枚	48件 35,161枚	ハガキ	12件	194枚	8件 81枚	カード	4件	10枚	3件 53枚
主な預託物品	30年度	29年度																						
ブルタブ	111件	350kg	89件 295,824kg																					
古切手	75件	27,533枚	48件 35,161枚																					
ハガキ	12件	194枚	8件 81枚																					
カード	4件	10枚	3件 53枚																					
<b>VI. 生活福祉資金・たすけあい金庫貸付事業</b>																								
(1) 町内に在住する生活困窮者などに対し、その世帯の援護、自立更正、療養、住宅等の福祉資金の貸付事業を行う。(道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	前年度からの継続貸付 償還が完了した貸付 次年度への継続貸付	4件 0件 4件																						
(2) 失業や減収で生活が困窮し、日常生活の維持が困難となっている低所得世帯の生活支援、住居確保、生活立て直しなどの資金として、総合支援資金の貸付事業を行う。(道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	なし																							
(3) 高等学校、大学等へ入学又は、就学する低所得世帯に対して教育支援資金の貸付事業を行う。  (道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	前年度からの継続貸付 本年度の新規貸付 次年度への継続貸付	3件 1件 4件																						
(4) 住宅用資産を有するものの、現金収入が少なく生計の維持が困難である高齢者に対して、不動産担保型生活資金の貸付事業を行う。  (道社協が実施主体、市町村が窓口)	実績なし																							
(5) 生活困窮者に対して、応急生活資金、応急医療費などの生活つなぎ資金として、たすけあい金庫貸付事業を行う。(むかわ町社協が実施主体)	区 分	30年	29年	比 較																				
	前年度からの継続貸付	4件	4件	—																				
	本年度の新規貸付	2件	3件	△1件																				
	償還が完了した貸付	4件	3件	1件																				
	次年度への継続貸付	2件	4件	△2件																				
<b>*生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付</b>																								
被災された方で道内に住所を有し、当座の生活費を必要とする世帯に対して貸付を行う。  (道社協が実施主体、市町村が窓口)	区 分	30年度																						
	鶴川地区	11件																						
	穂別地区	2件																						

計 画	実 施						
<p>*特別緊急小口資金貸付</p> <p>胆振東部地震により、被災された世帯並びに生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付を受けても、なお当座の生活費を必要とする世帯に対して貸付を行う。</p> <p>（道社協が実施主体、市町村社協が窓口）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>30 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>8 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>2 件</td></tr> </tbody> </table>	区 分	30 年度	鶴川地区	8 件	穂別地区	2 件
区 分	30 年度						
鶴川地区	8 件						
穂別地区	2 件						
<p>VII. 心配ごと相談事業</p> <p>心配ごと相談所を設置し、または民生児童委員の協力により、住民の日常生活上のいろいろな相談に気安く応じ、親身になって適切な助言を行い、あるいは解決に努める。また、行政からの要請を受け「行政相談週間」に心配ごと相談員として職員の派遣を行う。</p>	随時相談を受付け、解決に努めた。						